

東京都認証学童クラブ設置申請書

東京都知事 殿

設置者
住 所 東京都福生市本町 5 番地
氏 名 福生市長 加 藤 育 男

東京都認証学童クラブ事業実施要綱第 5 章 1 （ 1 ） ①の規定により、下記のとおり申請します。

記

1	学童クラブ名			亀の子クラブ									
2	学童クラブの所在地			郵便番号	197-0012		住所	東京都福生市加美平 1 丁目20番地 6 号（かえで会館内）					
3	設置・運営形態			公 設 民 営									
4	設置主体	名称		福生市									
		住所		郵便番号	197-8501		住所	東京都福生市本町 5 番地					
		代表者		福生市長 加藤 育男									
5	運営主体	名称		社会福祉法人 福生市社会福祉協議会									
		住所		郵便番号	197-0004		住所	東京都福生市南田園 2 丁目13番地 1 号					
		代表者		会長 板寺 正行									
6	学童クラブ事業開始年月			昭和	47		年	3	月				
7	認証学童クラブ事業開始年月			令和	7		年	4	月				
8	支援単位（※1）との状況	支援単位 1	専用区画面積	(部屋名)	63.41		m ²	(児童数で按分したときの 1 名あたりの面積)				2.26	m ²
			児童数	28 名									
			職員体制		放課後児童支援員（常勤）		2 名		放課後児童支援員（非常勤）		3 名		
					補助員（常勤）		0 名		補助員（非常勤）		1 名		
9	開所時間	平日	放課後から		19:00		まで						
		土曜日・長期休業期間	8:00		から	19:00		まで					
10	国庫補助の有無			有									
11	職員の勤務条件や賃金体系の策定有無			有									
12	職員の資質向上のための研修計画策定有無			有									
13	長期休業期間中の昼食提供			有	夏季休業期間	39 (39日)	日間提供 (夏季休業期間の全日数)	提供方法	学童クラブ外部からの搬入 (保護者会等による手配)				
				有	冬季休業期間	13 (13日)	日間提供 (冬季休業期間の全日数)	提供方法	学童クラブ外部からの搬入 (保護者会等による手配)				
				有	春季休業期間	12 (12日)	日間提供 (春季休業期間の全日数)	提供方法	学童クラブ外部からの搬入 (保護者会等による手配)				
14	活動内容	児童の意見を聞く場や機会創設有無	有（別紙様式 2 のとおり）										
		多様な遊びや体験活動の実施有無	有（別紙様式 2 のとおり）										
15	東京都福祉サービス第三者評価受審有無			有	令和	12	年度	受審予定					
16	直接契約の有無（民設民営の場合のみ）												
17	利用料	月額	4000	円									
		協議書提出有無 (月額利用料14,000円を超過する場合)											

※ 1 支援単位が 2 つ以上となる場合は、第 1 号様式乙に記載ください。

活 動 内 容 の 詳 細

第 1 号様式における多様な遊びや体験活動については、下記のとおりです。

記

1 児童の意見を聞く場や機会の創設

具体的な内容		
亀の子BOX(意見箱)を活用して、おやつ希望や遊びたいおもちゃや読みたい本の希望をアンケートで取ったり、意見や要望を聞いている。また、子ども一人ひとりの話を聞くことを重視していることから、日常の会話の中で、学童で取り上げてほしいことや困っていることの相談を受けている。なお、様子がおかしい時や困った顔をしている時等はこちらから話を聞くようにしている。		

2 多様な遊び及び体験活動

項目	実施回数		具体的な内容
「身体を動かす遊び」	毎	日	室内：けん玉 外：ドッジボール・バドミントン・ミニ野球・ミニバレー・ミニバスケ・バランスペダル・縄跳び・鬼ごっこ
「製作活動等」	毎	日	段ボールや空き箱等を使ったエコ工作・折り紙・塗り絵・お絵描き・レゴブロック・グラビトラックス
「地域の文化等に触れる体験」	12	回	福生七夕祭り灯籠制作・公民館事業へ作品展示・地域ボランティアによる工作やマジック、地域の囲碁サークルによる囲碁教室、市内ボランティアによる英語教室やブラバン工作 など
「自主学習」	毎	日	宿題の自主学習は登所後すぐに取り組み、その他の自主学習は自由の時間等好きな時に取り組んでいる。クラブでプリントなどの教材は用意しているが、タブレットを使用して興味のあることを調べる学習が多い。
「児童の意見を反映させた行事」	12	回	今年度よりかめこの新聞（壁新聞）を発行し、子ども達の生の声や意見を記事にしている。また、子どもたち自身でアンケートを取り、集計結果を発表している。亀の子BOX（意見箱）を使ってアンケートを取り、お楽しみおやつで食べたいおやつ希望を聞いて希望に沿ったおやつ提供を心掛けている。

3 要件

児童の意見を踏まえた内容となっているか	は い	「参加する」「参加しない」を児童が選択できるか	は い
---------------------	-----	-------------------------	-----